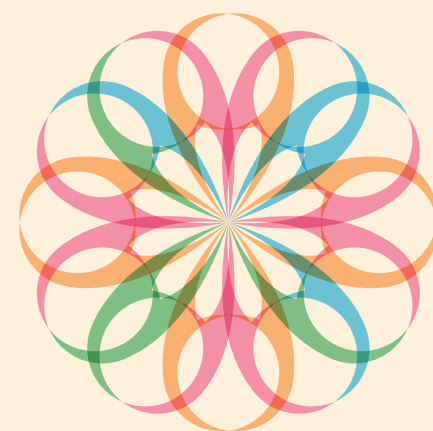




きれいに、輝き
かしこく、かせぎ
大輪の花になる。



やまぐち
農林漁業ステキ女子

やまぐち
農林漁業ステキ女子
YAMAGUCHI WOMAN POWER! VOL.3

発行: 2023年3月
発行元: 山口県農林水産部 農林水産政策課 農山漁村女性活躍推進班
〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号
TEL: 083-933-3370
FAX: 083-933-3339

やまぐち農林漁業ステキ女子
ホームページにて
活動や最新情報を発信中!



未来を拓く

新たな挑戦！

県域女子会や地域女子会の活動に参加しながら
自らの働き方を見つめ直し
さまざまな角度から
経営改善に取り組んでいる
ステキ女子たち。
明るい未来へ向かって
挑戦し続ける彼女たちの
輝く姿をご紹介します。

やまぐち 農林漁業ステキ女子とは

山口県内には、自身の「ステキ・スタイル」を持ち、農林漁業を職業として活躍している女性の仲間がたくさんいます。
やまぐち農林漁業ステキ女子は、「きれい」「輝き」ながら、「かしこく」「かせぐ」ステキ女子を目指して、経営発展につながるさまざまな取り組みを展開しながら、農林漁業の魅力を発信していきます。

もくじ

ステキ女子たちの未来を拓く新たな挑戦！
やまぐち農林漁業ステキ女子とは

【働き方改革】

● 才木 祥子 さん

● 長尾 智美 さん

● 火室 恵 さん

● 田熊 享子 さん

【女性が働きやすい職場づくり】

● 久保 伶名 さん（農川西）

【加工品開発】

● 小早川 さえ子 さん

コラボ活動の取り組み

やまぐち農林漁業ステキ女子の取り組み

登録メンバー＆応援団を大募集！

山口県での就業の流れ

01 02 04 06 08 10 12 14 16 18 20

challenge

1 働き方改革



宇部市・才木 祥子 さん

次代へつなげる
農業を目指して。



岩国市・火室 恵 さん

加工場の改善で
仕事がスムーズに。



田布施町・田熊 享子 さん

雇用で気持ち
が楽になった。



山口市・長尾 智美 さん

次なるリーダーの
育成に向けて。

challenge

2 女性が働きやすい職場づくり

就業環境を整え
若い人々に未来を話す。



山口市・（農）川西 久保 伶名 さん



山陽小野田市・小早川 さえ子 さん

challenge

3 加工品開発



おいしいのにもってけない。
規格外品を価値ある商品に。

SNSもあります

Facebookにて

やまぐち農林漁業ステキ女子の
活動や最新情報を発信中！



Before



After



空間に余裕がでると
気持ちにも余裕が！



まず実行したのが倉庫の大掃除。プロの力も
借りて整理整頓したことで、日々の作業時間が
短縮できるように。

時間を生み出すには
人に仕事を任せることが
大事！



次代を見据えながら、食べることが楽しくなる、
おいしい野菜づくりに取り組む才木さん夫妻。



マニュアルはメモ程度で
OKと佐川先生に言わ
れ、気持ちが楽になった
そう。仕事の指示は常に
メモマニュアルで。

▶ 左から、夫の才木誠さん、
才木祥子さん、佐川友彦さん



未来を拓く
新たな挑戦

働き方
改革

次代へつながる農業を目指して。

宇部市・才木 祥子さん



さい き しょう こ
才木 祥子さん



まこっこ農園
山口県宇部市小野651
<https://www.facebook.com/Macocconouen>
就 業 年：2009年
経営品目：ミニトマト、白ネギ、スナップエンドウ、キャベツ
栽培面積：1.2ha(うちハウス6棟)

1982年、山口県宇部市出身。大学在学中にアルバイトし
ていた農家レストランで畑仕事を手伝った際に土の温か
さに感動し、命を育てる農業の仕事に興味を持つ。大学
卒業後は就農の夢を胸に農文協へ就職。職場の同期で、
同じく農業を志していた埼玉県出身の夫と出会い、
2009年に宇部市小野で新規就農を果たす。3児の母。

暗いトンネルで見つけた灯り。

「食べることを楽しく」をモットーに、夫婦力を合わせ
て、食べることが楽しくなる野菜づくりに専念してき
ました。おかげさまで販売は順調で、そのぶん生産量
もパートさんの雇用も増えていきます。ところが今度は
管理的な仕事が多くなり、どんどん自分の時間がなく
なる事態に。行き詰まっていた時に夫が薦めてくれた
のが、佐川友彦さんの著書『東大卒、農家の右腕にな
る。』でした。出口のない暗いトンネルで灯りのスイッ
チを見つけた！ そんな感覚でした。

著者とまさかの出会い。

そしてその翌年に、著者の指導が受けられるとは、
夢にも思いませんでした。農家の経営改善ノウハウが
詰まったこの本を、ステキ女子と知事との意見交換会
で紹介したのがきっかけとなり、佐川先生のアドバイ
スをいただきながら経営改善に取り組めることにな
ったんです。「時間がない」という最大の課題を克服
するために、一つひとつの仕事を検討しては改善アイ
デアを出し、実行することを半年間繰り返ししました。

大切なのは小さな改善の積み重ね。

整理整頓の習慣をつけるために整理収納アドバイ
ザーを交えて大掃除をしたり、メモマニュアルを渡し
てパートさんに仕事を任せたり、煩雑化してきた会計
管理を外部に委託することになったり、それだけでも
休憩が30分長く取れるようになりました。できること
から一つずつ改善を重ねた結果、自分の時間を生み
出せたんです。新規就農して、ゼロから手探りで経営
してきて、やっと自分のやりたい農業に近づけた、そ
んな実感が私に自信をつけてくれました。

できた時間を地域へ還元。

昨春は、小野小学校の児童数を増やす活動グルー
プ「おのっこ未来応援隊」を立ち上げました。時間がで
きたら違うことを始めて、また忙しくなるんですけ
ど(笑)、ストレスはないし、日々充実しています。人が
いて人の営みがあつてこそ、農業も地域も続いていく
のかなと。ここで農業ができるのは地域のおかげで
す。今後も経営改善と地域活動を続けながら、次代へ
つなげられる農業を実現したいと思っています。

加工はマニュアルを確認しながら。「特にピクルスは旬の野菜を使うため種類が多く、マニュアルは必須です」と長尾さん。



県産野菜の旬のおいしさを閉じ込めた「山口きららピクルス」は、見た目にもかわいくカラフルで幅広い世代に人気。

スケジュール管理アプリを活用すると便利♪



一日の仕事の記録も「言語の可視化」の一つ。「業務管理に役立つし、記録を始めてから時間の使い方がうまくなったと思います」



阿知須特産の「寒漬」の原材料となる大根の塩漬けを天日干しする光景は圧巻。未来へ残したい阿知須の冬の風物詩。



一昨年にリニューアルした「寒漬」は贈答でも大好評！

▶ 左から、長尾智美さん
社員の岡村彩加さん
夫の長尾誠大さん



なが お とも み
長尾 智美さん

株式会社あぐりてらす阿知須
山口県山口市阿知須1517-1

就 業 年: 2011年

経営品目: 水稲、野菜、加工品(寒漬、かきもち、ピクルス)

栽培面積: 水稲約45ha、その他農地15ha

1976年、新潟県出身。職場の美容室に客としてやってきた夫と意気投合し、半年後に結婚。新聞記者だった夫の転勤を機に新潟市を離れ、東京に3年、北海道に2年暮らした後、自身の病をきっかけに夫の実家へリターン。翌2011年に就農して、夫婦で農業を引き継いだ。2021年に法人化し、社員を増やしながら事業規模を拡大中。夫、娘と3人暮らし。

次なるリーダーの育成に向けて。

山口市・長尾智美さん

未来を拓く
新たな挑戦

働き方 改革



農地が広がり雇用を開始。

両親から農業を引き継ぎ、夫は水稲、私は阿知須特産かぼちゃ「くりまさ」と加工部門を担当して、はじめは夫婦二人でやってきたんですが、夫がどんどん農地を広げるので手が足りなくなり、数年前から人を雇うようになりました。この辺りも年々休耕地が増えていて、放っておけないんですよ。裏作野菜の生産で収益を安定させ、法人化もして、雇用環境を整えました。現在、十余名の従業員が一緒にがんばっています。

任せるためには「可視化」が大事。

製造から販売まですべてを一人でこなしてきた加工部門も、2年前に入社した女性のおかげでずいぶん楽になりました。製造はある程度彼女に任せられるし、繁忙期には他の社員にも手伝ってもらっています。ただし、人が増えると、口頭だけで物事を伝えるのは限界があつて。どうしてもミスやトラブルが起きてしまうんですね。そんな時に、ステキ女子の研修会で「言語の可視化」の大事さを学ぶことができて、本当に助かりました。

マニュアルで作業効率も向上。

さっそく加工品のマニュアル作成に取りかかり、講師のアドバイスを参考に、まずは絶対に間違えちゃいけない分量や時間、安全チェックなど、大事なところだけを可視化。パッと見てわかるよう表現を工夫して、ラミネート加工し、加工場でいつでも取り出して使えるようにしました。マニュアルを整備してからミスが減り、作業効率もぐんと良くなりましたね。単純な作業だからこそ、マニュアルが必要なんだと実感しました。

リーダー的人材を育てたい。

また、昨年は思い切って朝礼を変えてみました。それまでは夫が指示を出すだけの10分間でしたが、朝礼はみんなが集まる唯一の時間なので、前日の作業報告とその日の予定を一人ずつ発表してもらおうにしました。すると、みんなの自覚が変わりましたね。主体性が備わったと思います。今後さらに農地が増える予定なので、この調子でリーダーになれる人材を育て、社員を増員して、彼らに現場を任せたいですね。

作業台の高さが上がったので腰をかがめずに作業できるようになり、腰痛が改善したそう。

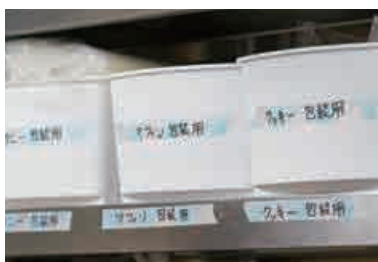


すぐに見つけられるし
ぺたぺたと貼れる！



以前は箱に入れていた商品ラベルを
トイレットペーパー式に吊り下げた
だけで作業時間が短縮。

マステは
貼り直しができて便利♪



包装資材は商品ごとに使うものを分けて引
き出しに入れ、マスキングテープで表示。



小さい子にも安心し
て食べさせられる、
米粉の焼き菓子
製造。シフォンケー
キはしっとりふわ
ふわ食感。



未来を拓く
新たな挑戦

働き方
改革

加工場の改善で
仕事がスムーズに。

岩国市・火室 恵さん

結婚を機に加工をスタート。

私が加工に携るようになったのは、ここに嫁いでしばらくしてからことです。夫の母は父が育てた自家栽培米を使って、自宅併設の加工場でいろいろな加工品を製造していたんですが、高齢になったので、そろそろやめようと考えていたみたいなんです。ある日「興味があればやってみたい？」と声をかけられ、米粉のシフォンケーキを習ったのが始まりです。もともと菓子づくりは好きだったので、そのまま母のレシピを引き継ぎました。

やっと気づいた加工場の課題。

子育てしながらコツコツ加工を続け、季節の野菜を使ったマフィンや型抜きクッキーなど、新しい商品も少しずつ増やしてきました。ただ、加工場は母が使っていた当時のまま、何も変えてこなかったんです。しよっちゅう棚で頭を打つし、加工の日は腰が痛くなるし、何となく使いにくいなーとは思っていました。が、どうしていいかわからなくて。そんな時に岩国地域のステキ女子会に参加して、整理収納アドバイザーさんに会ったんです。

整理収納で作業効率が向上。

思い切って指導をお願いし、いざ整理を始めてみると、使わないものや要らないものがたくさん出てきてびっくり(笑)。必要なものだけを残して、作業の導線や取り出しやすさを考えながら収納位置や収納の仕方をガラッと変えました。小柄な母に合わせたレイアウトも変更し、長身な私の使い勝手を考えて吊り棚を付け替えたり、作業台を高くしたりして、格段に作業がやりやすくなりました。

製造環境が整い、次のステップへ。

こんなものかなー、とやり過ぎてきた加工場の使いにくさを、こうして改めて見直して、本当に良かったです。材料や資材の在庫が一目でわかるし、すぐに取り出せるし、身体の負担も減って、うれしいことだらけです。作業効率が上がって時間短縮できたぶん、保育園のお迎えに早く行けるようにもなりました。製造環境は整ったので、子どもがもう少し大きくなったら、今度はしっかり販路を広げていきたいです。

ひ むろ めぐみ
火室 恵さん



山の菓子工房
山口県岩国市美和町秋掛163-4
<https://www.instagram.com/yamanokashi/?hl=ja>
就 業 年：2014年
経営品目：米粉の焼き菓子

1989年、山口県岩国市出身。市中心部で生まれ育ち、県立高森高校を卒業後、パソコンへの興味から広島市立大学情報科学部へ進学。期待と現実とのギャップや通学疲れがもとで退学し、仮設資材レンタル会社に就職して事務職を経験。社内結婚後、美和町へ移り住み、米粉を使った焼き菓子の製造を義母から引き継いだ。3児の母。



収穫繁忙期は7、8月。
暑い中の作業は
体力勝負！

きつい農作業に人が定着するのは最初は不安だったそう。「結構楽しいと言ってもらえてホッとしています」



アスパラ自動選別機を導入したおかげで作業効率がアップ。



雇用で踏み切ったことでゆとりが生まれ、研修会などにも参加できるよう。「一人だと周りが見えなくなるし、外に出ることは大事」と田熊さん。



田布施地域交流館や
イオン光店などで
購入できます♪

有機肥料・減農薬栽培で大事に育てたアスパラガスはJAへ出荷。一部地域の直売所などでも販売している。



たぐま あきこ
田熊 享子さん

あぐり a.
山口県熊毛郡田布施町大字宿井1754-9

就業年：2015年
経営品目：アスパラガス
栽培面積：15a（うちハウス7棟）

1971年、山口県熊毛郡田布施町出身。徳山女子短期大学を卒業後、地元でカーディーラーの事務職に就き、結婚を機に県外へ。1998年にUターンして広告営業などを経験し、2012年に農業大学校の「やまぐち就農支援塾」を受講。農業法人での2年間の研修を経て、2015年4月に新規就農。7棟のハウスで年間約5tのアスパラガスを生産している。

雇用で気持ちが楽になった。

田布施町・田熊 享子さん



未来を拓く
新たな挑戦

働き方 改革

就農のきっかけはふとした出来事。

ここは兼業農家だった祖父の田んぼなんです。高校生の時に家族でこの地に戻ってきて、社会に出てからは長く家を離れていた中で、農業経験は全くなかったんですよ。そんな私が就農の道を選んだのは、ふとしたことがきっかけでした。体調を崩した母に頼まれて、家の畑で初めて農作業をしたら、とても気持ちが良く、それが強く印象に残っていて、ある日たまたま就農支援塾の広告を目にした瞬間、その時の記憶がよみがえったんです。

人手不足が課題に。

給付金を受けながら農業大学校で農業の基礎を学び、柳井のあいさいの里でアスパラガスの栽培技術を身に付けさせていただきました。運良く家のそばにハウスを構えることができ、張り切って栽培を始めたんですが、それはもう大変でした。生産目標は達成できたものの、日々の収穫に出荷調整作業。追肥や防除、整枝も全部一人で行うので、とにかく身体がきつく、それでも人を雇う勇気はなく、ずっと一人で抱え込んでいました。

パートさんに救われた。

ところが3年前のこと、農業体験に來られた女性がそのまま農繁期の収穫を手伝ってくれたことになったんです。本当に助かりましたし、ありがたかった。雇用の必要性を痛感しました。昨春はさらにご縁に恵まれ、もう一人収穫のパートさんが増えました。経営的にどうかはまだわかりませんが、余裕ができた分、違う動きができるようになりましたし、何より精神的に救われています。

雇用の安定を目指して。

それに、収穫の人手が増えたことで、収量だけでなく品質も向上して、秀品の割合が多くなりました。今のところは収穫だけ手伝いに来てもらっていますが、今後は出荷調整までパートさんの仕事の幅を広げられたいと思います。そのためには、今以上にしっかり収益を出していかないと。さらに売り先を開拓して、いずれは冬の作物や加工も考えたいですね。

就業環境を整え 若い人材に未来を託す。

山口市・農事組合法人 川西

久保 伶名さん

小林 紀代士さん



「大型機械が大好き!」というだけあって操作はお手のもの。機械のメンテナンスや修理も楽しいそう。



機械を駆使しながらも、人の手が必要なところには手をかけて。「作物が育つ姿を見るのが好き」と久保さん。

川西の主力は20代の
若い社員!



川西では積極的にスマート農業を実践。防除作業もドローンで効率よく行う。



2年後輩の岡本さん(右)と一昨年入社の小林さん(左)。今春は中学時代の職場体験で川西への就職を決めたという農大生が入社する予定。



農事組合法人 川西 山口市山口市深溝933-1

経営品目: 水稲、麦、大豆、野菜(たまねぎ、キャベツ、じゃがいも、はなっこり一等)
栽培面積: 約155ha

代表理事 小林 紀代士さん

農業従事者の高齢化で耕作放棄地が増え続ける中、山口市嘉川と佐山の7集落でほ場整備に取り組み、2008年9月に法人を設立。2015年に社員雇用を開始し、現在20代の社員3名が従事。約155haで水稲、麦、大豆、野菜を生産している。キャベツ、たまねぎ、じゃがいもは2019年にJGAP認証を取得。今後さらに農地を拡大する予定。

主任 久保 伶名さん

1994年、山口県宇部市出身。大工の家に生まれた3人姉妹の真ん中で、素質をば見込まれて育つもその気はなく、高校でたまたま目にしたポスターに惹かれ、周囲の反対をよそに農業大学校へ進学。1カ月間研修に通った農事組合法人川西への就職を熱望し、2015年4月に社員第1号となる。現在は主任として現場を束ね、後輩の指導にもあたっている。

若い社員にこそ経営感覚を。

小林 機械化が進めば、作業自体はオペレーターで十分。社員にはマネジメントができる人材に育ててもらいたいので、理事会だけでなく外部の研修会にも積極的に参加させています。

久保 一昨年は経営計画を立てる半年間の研修に行かせていただきました。法人の代表者が集まる会合に、代理で出席することもあるんですよ。初めは戸惑いましたが、経営方針などいろいろな話が聞けてとても勉強になります。

小林 いずれ川西を担う人間が井の中の蛙じゃあ困ります。若い人にこそ人脈や視野を広げて、経営感覚を養ってもらわないと。未来への投資ですよ。私たちはもう高齢ですから、川西の将来を若い社員につないでいきたいと思います。

久保さんがターニングポイントに。

小林 農大から研修に来た久保さんに「ここで働きたい」と言われた時は、うれしい反面、かなり悩ましました。法人を立ち上げて7年目、まだまだ収益は上がっていません。人を雇用するには一年を通じて仕事が必要です。でも、法人の将来を見据えて、腹をくくったんです。麦や野菜の作付けを計画し、就業規則の改訂などを行って、何とか雇用の準備を整えました。久保 求人がないのはわかった上で、何度も就職を願いました。皆さんの温かさに触れ、どうしても川西で働きたくて。内定通知書をいただいた時は言葉にできないくらいうれしかったです。

小林 あれから丸8年、今や久保さんは川西の中心的存在です。農大の後輩二名に続き、今春も一名採用を予定しています。あの時、社員雇用に踏み切った本当によかった。決して経営が楽なわけではありませんが、若い人材の活躍で未来が拓けました。

就業環境の整備でより働きやすく。

久保 就業時間は8時から17時で、土日祝は休み。産休や育休もあって、待遇は一般企業と変わりません。入社2年後には休憩所を建てていただき、昼休憩がとても快適になりました。シャワー室もあるんですよ。

小林 気持ちよく働いてもらいたいし、就業環境が良くないと、いい人材は集まりませんからね。スマート農業にも積極的に取り組み、機械化できるところはどんどん機械化しています。

久保 便利な機械の導入で、高齢のパートさんでも無理せず安全に作業ができるようになりました。作業負担が全然違いますし、人手不足も解消できます。川西は農地の規模が大きいので、いかに効率よく仕事をするか、常に考えて動いています。

ステキ女子活躍推進補助金を活用して、魅力的なパッケージデザインが完成！

栄養価の高いアスパラガスをたっぷり使い、米こうじを加えて旨味とコクを出した、化学調味料を含まないドレッシング。



規格外のアスパラガスでも栽培の手間暇は同じ。
「加工で姿を変えてあげれば価値を下げなくてすむ」と小早川さん。



経営だけでなく従業員の指導から現場作業まで、何でもこなす小早川さんはとてもパワフル。



お土産品として開発したものの
地元の人にも好評♪

アスパラドレッシングは花の海売店のほか、県内の道の駅やJA直売所などで販売。オンラインショップでも購入できる。



こばかわ

こ

小早川 さえ子 さん

株式会社エスケイサービス

山口県下関市清末中町2-4-36

<https://skservice-yamaguchi.com>

就 業 年: 2006年

経営品目: アスパラガス、イモ苗、農作業の受託

栽培面積: 約3ha(うちハウス25棟)

福岡県出身。25年ほど前に夫の仕事の都合で下関市へ移住。運送会社の業務を受託することになり、2004年に個人事業を立ち上げ。2006年に(株)花の海の接木作業を受託し、2014年に法人化した。2019年に山陽小野田市の増生干拓地でアスパラガスとイモ苗の栽培をスタート。生産規模を拡大しつつ、2021年に加工品第1号のアスパラドレッシングを発売。



未来を拓く
新たな挑戦

加工品
開発

おいしいのにもったいない。
規格外品を価値ある商品に。

山陽小野田市・小早川 さえ子 さん

接木の受託をきっかけに農業の道へ。

まさか農業をするとは思いませんでしたよ。下関に住むまでは田んぼも畑も目につくことなく生活してきましたから。一番下の子が幼稚園に上がる前に、縁あって運送会社さんの仕事を請け負うことになったんですが、それがすべての始まりでした。その紹介で花の海の前島社長と出会い、接木作業を受託したんです。それからもう、苦勞の連続(笑)。農業経験がない上に、技術のいる仕事ですからね。失敗を繰り返しながら何とかノウハウを身に付け、ここまでやってきました。

予期せずスタートしたアスパラガス栽培。

深く考えないからできるんでしょうね。何かが始まる時には、風が吹くんです。休眠中の土地にある古いハウスを使わないかとある方に言われた時も、「うん」と軽く返事をしてしまった(笑)。10年放置されていたアスパラガスのハウスはひどい状態でしたが、どうにかこうにかきれいにしたら、30年ものの親木の根元からどんどん芽が出てきました。タイミングよくイモ苗の依頼も入り、年間の仕事の目的が立ったので農業部を立ち上げたんです。

規格外でも愛情は同じ。

野菜の生産に携わって感じたのは、受託の仕事とは違うやりがいでした。辛抱強さが必要だし、苦勞や心配事も絶えませんが、芽が出た時のうれしさ、育つ過程を見る楽しさ、無事に出荷できた時の喜び、子育てに似てますよ。ですから規格外のアスパラガスの多さには心が痛みましたね。見た目が悪いだけで、おいしいの出荷できない。これは何とかしないと、すぐに加工品の試作を始めました。

形を変えて価値を生み出す。

いろいろ試してたどり着いたのが、野菜嫌いの人のためのドレッシング。アスパラガスがたっぷり入っているのにそれを感じさせないドレッシングを、肉や魚にかけて食べてもらったら、おいしく野菜が摂取できて一石二鳥だと思っただけです。一昨年10月の発売から好評で、増産を重ねています。規格外品でも形を変えれば、価値が生まれる。廃棄ゼロを目指して、魅力ある商品をさらに開発したいと思っています。

step

③

FAM'Sキッチンいわくにで「ステキ女子マルシェ」を開催

2022年5月14日(土)、前日までの大雨がすっかり止んだ晴天のもと、FAM'Sキッチンいわくににたくさんのテントを広げてマルシェを開催することができました。当日は、農産物や加工品、手工芸品の他にキッズアクセサリのワークショップ、キッチンカーの出店や、金管五重奏&ドラムの演奏会を催し、駐車場が満車になるほど多くのお客様にご来場いただくことができました。それぞれの販売ブースで生産のこだわりや良品を選ぶコツ、おすすめの食べ方などを直接お客様に伝えることができ、喜んでいただけて、とても充実した一日になりました。消費者の声を聞き、交流することは、やっぱり大事!



由宇のトマトやイチゴ、周東のお米や加工品、美和の焼き菓子などステキ女子の販売ブースがずらり



店長さんの感想



FAM'Sキッチンいわくに
店長
かつもと ひでのり
勝本 英典 さん

当日は、青空のもとマルシェが開催され、ファムズも一段と賑やかになりました。お客様も対面販売や演奏を楽しんでおられ、みなさんにはステキな交流の場を作っていただきました。今後もみなさんの力が発揮できる場づくりを一緒に盛り上げていきたいと思っています。

出店者の声

- お客様と直接、話すことができ、お客様の求めることが少しもつかめました。
- 用意は大変だけど、達成感がありました。
- 岩国のステキ女子が、マジでステキで、マルシェに参加させていただけで幸せでした。



地元の農産物直売所とコラボ! ✨

農産物直売所

FAM'Sキッチンいわくに

農家の所得向上や岩国地域の農業の活性化を目的に2018年に開設された、JA山口県岩国統括本部が運営する農産物直売所。地元だけでなく広島など広域からの買い物客も多く、2022年4月に来場者100万人を突破。



岩国地域

農業女子会

岩国地域農業女子会では、研修で学んだことを実践する場として2018年度からFAM'Sキッチンいわくにでイベント販売を行ってきました。2020年度からは実行委員会を設置し、農業女子主体のマルシェに取り組んでいます。

step

①

農業女子会で
開催場所と実行委員を決定

まずはみんなの思いを確認。

農業女子会のメンバーは子育て世代。メンバーの多くが出荷している「FAM'Sキッチンいわくに」は高齢層のお客様が多いけど、私たちと同年代のお客様を増やしたいよね!

開催場所

開催場所は

FAM'Sキッチンいわくにに決定! ✨

メンバーから
前向きな意見がたくさん!

- はあすちゃんは子どもに大人気だよ
- 土日開催は家族で来てもらいやすいよね
- 友だちのバンドに生演奏を頼めるかな

実行委員会のメンバーも増やそう!

直売やイベント出店経験豊富なメンバーも加わり、計4名に。



step

②

実行委員会が
具体的なイベント内容を企画

- お客様に喜んでもらえる企画は?
- ステキ女子とつながりのあるみなさんの力を借りよう!

イベント内容

「はあすちゃん」

撮影会

はあすちゃんの役もステキ女子が担当!

金管楽器の

生演奏

続々と具体的な
内容が決定!キッチンカーの
出店

など...

告知活動

チラシ

メンバーのお姉さんがデザインしてくれました!



Instagram

みんなでマルシェの開催予告を拡散!

コラボ活動
の取り組み

岩国地域農業女子会がマルシェを開催!

2016年度に活動開始した岩国地域農業女子会は、市場出荷とあわせて直売所での販売に取り組むメンバーが多くいます。このたび、市内の農産物直売所とコラボしてステキ女子マルシェを開催しました☆

今後は...

マルシェは大盛況に終わりましたが、今回の反省を次に活かし、FAM'Sキッチンいわくにと協働した情報発信や消費者との交流の場づくりを引き続き進めていきます!



令和4年度の取り組み 山口ダイハツ販売株式会社×ステキ女子

応援団企業とコラボ！ 県内2か所でマルシェを開催。

やまぐち農林漁業ステキ女子応援団の山口ダイハツ販売株式会社とコラボして、県内2か所で、「やまぐち農林漁業ステキ女子マルシェ」を開催しました。山口ダイハツ販売株式会社からは、新聞折り込みチラシ等を利用したマルシェのPR、参加者・商品の紹介や、マルシェ当日にはNibako(荷箱)の貸出をしていただきました。

移動販売パッケージ
「Nibako」に
商品をディスプレイ



2

令和4年
10月16日

やまぐち農林漁業ステキ女子 in 山口ダイハツ 下関店

県内各地から9名が参加しました。



消費者と
直接話ができる
貴重な機会！

参加者のコメント

ダイハツに来られたお客様と楽しくお話ししながら、マルシェに参加し、花のPRや販売ができました。仲間との楽しい一日になりました。

宇部市・田中国芸 田中 純さん

令和4年
12月4日

やまぐち農林漁業ステキ女子 in 山口ダイハツ 徳山店

県内各地から5名が参加しました。



参加者のコメント

はじめは1人で出店するのが不安だったのですが、ダイハツの方やステキ女子のみなさんに支えていただき、交流もできて、子どもと一緒に楽しく参加することができました。

山口市・(株)あぐりてらす阿知須 岡村 彩加さん

令和4年度の取り組み

多くの人に
知ってもらうために！

ステキ女子の魅力を 積極的に情報発信！

ステキ女子の魅力や活躍する姿をSNSやYouTube、パンフレット等を活用し、積極的に情報発信しています。

パンフレット



YouTube



やまぐち農林漁業ステキ女子
【山口県農林水産政策課】
@nourinyogyousutekijoshi



イベントや活動の情報を
発信中！

facebook

やまぐち農林漁業ステキ女子
<https://www.facebook.com/yamaguchi.nourinyogyousutekijoshi>



3

令和4年度の

やまぐち農林漁業ステキ女子の取り組み

ステキ女子を目指して様々な取り組みが進んでいます！



令和4年度の取り組み 『東大卒、農家の右腕になる。』著者

佐川友彦氏を講師に セミナーを開催。

女性が働きやすい農林漁業経営体づくりを進めるため、ファームサイド株式会社代表取締役の佐川友彦氏を講師に、「女性が働きやすい農林漁業経営体づくりセミナー〜できることから始める小さな経営改善〜」を開催しました。



第1回 令和4年7月8日

公開講座で
リモート参加者も♪

経営改善のポイントや進め方等について学びました。

第2回 令和4年8月5日

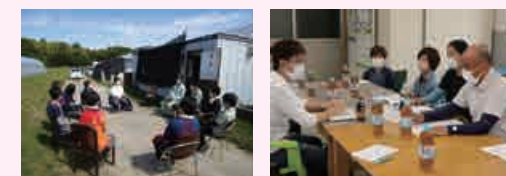
ワーク・ライフ・バランス等について学びました。また、受講者同士で、経営改善の進捗状況について意見交換を行いました。



共感し合える仲間たちと
交流しながら
経営について意見交換！

現地指導 令和4年10月5日～7日

受講生が働いている農園10か所を訪問していただき現地指導を行っていただきました。当日は、経営主、従業員も参加し、活発に情報交換が行われました。



第3回 令和5年1月20日

受講生13名が、セミナーで学んだことを活かして自身が作成した経営改善計画を発表し、講師からアドバイスをいただきました。



受講者のコメント

忙しい中でも自分の一歩を踏み出すために参加しました。自分の状況を再確認し、改善に取り組むことができました。農業は何年経験しても課題に終わりがなく、勉強になりました。

防府市・(株)江越農園 江越 律子さん

受講者のコメント

セミナーを受講するたびに、課題を可視化して自分の頭の中を整理し、見直すことができました。毎回得るモノが多く、自分が向上するだけでなく、周囲の者にも波及するので楽しいです。

山口市・(株)あぐりてらす阿知須 長尾 智美さん

1

ステキ女子の 応援団 になりたい！

ステキ女子を応援したい
企業・団体等の皆様を募集中です！

連携した取り組みや情報発信に
興味がある方をお待ちしております！

やまぐち農林漁業ステキ女子とノウハウを共有した
り、補完し合ってお互いの活動と一緒に広げていく
意欲のある企業・団体等を募集しています。



企業や団体ごとに
取り組み内容も様々！

主なコラボ活動の内容



マルシェ

山口ダイハツ販売株式会
社とコラボした「やまぐち
農林漁業ステキ女子マル
シェ」を開催



売り場づくり勉強会

JAGDA山口((公社)日本
グラフィックデザイナー協
会山口地区)とのコラボ
で売り場づくり勉強会を
開催

登録から活動までの流れ

step 1 ステキ女子を知り 一緒に活動する

- 個々のステキ女子とつながりを持つ。
- 連携活動(マルシェ開催場所の提供など)や、情報発信(ポスターの掲示やパンフレットの設置など)を支援する。

step 2 やまぐち農林漁業ステキ女子 応援団に登録する

登録申込書を山口県農林水産部
農林水産政策課に提出。

過去の連携活動の実績や、今後応援団としてステキ女子とともに取り組んでいきたい内容を記入する。

step 3 ステキ女子を応援し 活動を深める

- マッチングイベント等で新しいステキ女子と出会う。
- ステキ女子とともに、新たな連携活動に取り組む。

商品開発、活動場所の提供、情報発信やPR、経営発展支援など

- ステキ女子と連携した取り組みや情報発信で新たな顧客開拓につなげていきたい
- ステキ女子の生産物やアイデアを活かしてお客様に新しい価値を提供していきたい

そんな思いを持つ企業・団体等の皆様、
応援団となって、ステキ女子と一緒に活動しませんか？

詳細は
こちら



お問い合わせ先

山口県農林水産部 農林水産政策課 農山漁村女性活躍推進班

〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号

TEL 083-933-3370 FAX 083-933-3339 メール al7100@pref.yamaguchi.lg.jp

ステキ女子の メンバー になりたい！

やまぐち農林漁業ステキ女子として

一緒に活動してくださる方を募集中です！

山口県内の農林漁業を職業とする女性で、「きれい」「輝き」ながら、「かしこく」「かせぐ」農林漁業女子を目指し、登録メンバー間の情報交換や取り組みの情報発信等にご参加いただける方を「やまぐち農林漁業ステキ女子」として募集しています。ステキ女子として個々の思いを共有し、学び合いながら、自身の経営発展につながる様々な活動(ステキ女子プロジェクト)に参加してみませんか。

一緒に、農林漁業の魅力を広く情報発信していきましょう。

主な活動内容

- ステキ女子間の情報交換
- ステキ女子プロジェクトの活動(マルシェの開催など)
- 異業種とのコラボ
- SNSで情報発信

取り組みへの参加は自由！
興味のあるものを選んで参加できます。

ステキ女子を目指して
様々な取り組みが進んでいます！



ステキ女子メンバーで良かったこと

仕事の辛さ楽しさ喜びを共感できる仲間に出会えたことです。セミナーや雑談の中から生まれる新しいアイデアやわくわく、メンバーと会うたびに湧き出るパワー、その機会を与えてもらえる「ステキ女子会」には感謝しかありません。

下関市・野村 みゆきさん



ステキ女子に登録して、県内のいろいろなジャンルの女性農家さんと出会うことができました。話を聞いたりすることで、また頑張ろうと思えるし、たくさんのヒントをもらっています。講師の先生や補助金などの情報もありがたいです。

周南市・須田 加弥子さん



農業や畜産業の方々と同世代の方々と知り合うことができたのがとても大きかったです。夫と一緒に何かやれたらなあと思ったのは、ステキ女子会に参加したからだだと思います。

萩市
(右) 佐々木 麗子さん
(左) 家田 淑美さん



YouTubeにてステキ女子の
魅力や活躍する姿を発信中！

やまぐち農林漁業ステキ女子
【山口県農林水産政策課】
@nourinyogyousutekijoshi



酪農だけでなく農業、林業、漁業の分野の方々と関わることができて、みんなが参加しているマルシェなどに遊びに行き、気軽に声をかけられる仲間ができたことです。

下関市・岸田 妙子さん



農作業しかしてこなかった私にとって、本当にステキな出会いの場！魅力あふれるみなさんからの刺激があるからこそ私も負けずに成長しようと思えます。いろんな視点でのアドバイスがもらえるので発見の連続です。

周防大島町・上妻 あかねさん



◀ 関心のある方は、左記のお問い合わせ先にお気軽にご相談ください

漁業をはじめたい方へ

1 情報収集・相談

- 相談窓口へ相談
- 山口県独自の漁業就業支援フェアに参加し指導者とマッチング
- 就業したい漁業形態をイメージ
(自営 or 雇用)

2 研修 短期研修と長期研修

短期漁業研修(最長1週間程)

- マッチングした指導者の下で漁業体験
- 希望する漁業形態への適正や指導者との相性を確認

長期漁業技術研修(最長2年間)

- 指導者(漁業会社も含む)の漁船に乗り込み研修へ
※研修中でもアルバイト代が支給されます。

3 独立・就業の準備

- 船舶免許等の資格取得 ※県の支援あり
- 漁協への組合員加入
- 漁船漁具等の取得 ※県の支援あり

4 就業から定着へ

経営安定に向けた実践的な経営研修に移行
※県の支援あり: 自営型漁業就業者に対して3年間給付金支給。



山口県漁業就業者確保育成センター

山口県下関市大和町1丁目16-1下関漁港ビル
(山口県漁業協同組合指導課内)
TEL:083-261-6612
FAX:083-261-6618



詳細はこちら

林業をはじめたい方へ

1 情報収集・相談

- 相談窓口での情報収集(就業先や研修のコーディネート、アドバイスなどあり)
- 就業ガイダンスや相談会に参加

2 見学・体験

- やまぐち森の仕事見学ツアーに参加
- 「仕事と暮らし」の見学・体験・相談会に参加
※旅費等について、一部支援が受けられます。
※就業相談会や仕事見学ツアーの日程などは、やまぐち森林担い手財団のホームページをご覧ください。



3 研修

林業就業促進研修(最長15日間程)

- チェーンソーなど現地作業に必要な基礎技術、安全知識を習得

林業即戦力短期育成塾(5ヵ月間)

- 木材生産に必要な資格取得や技術習得
※研修期間中、一定の要件を満たせば、給付金が受けられます。

4 就業後

就業後も、就業状況に応じて、技術や技能を習得する各研修を受講可能

(一財)やまぐち森林担い手財団 (山口県森林整備支援センター)

山口県山口市駅通り2丁目4-17
TEL:083-932-5286
FAX:083-934-3150
メール:yamahito@ykenshin.or.jp



詳細はこちら

農業をはじめたい方へ

1 情報収集・相談

- 就農候補地の市町・農協・農林水産事務所等へ相談
- 就農相談会や、やまぐち就農ゆめツアーへの参加
※就農相談会やゆめツアーの日程などは、やまぐち農林振興公社のホームページをご覧ください。
- 就農形態の検討
(自営就農 or 農業法人への就業)

2 体験

やまぐち就農支援塾及び現地農家等で農作業を体験

3 研修

栽培技術等の長期研修(最長2年間)

やまぐち就農支援塾等の研修機関で農業経営に必要な知識や技術等を習得するための研修を受講

4 就農・就業の準備

自営就農準備

- 就農候補地の市町・農協・農林水産事務所等と具体的な経営内容について協議
- 就農場所や経営内容を決定
- 就農時や将来の経営計画を作成

農業法人への就業準備

- 自分の栽培したい品目や地域、働き方に合う農業法人を探す
- 農業法人で働くために必要となる知識・技術・資格などを習得

5 就農・就業

自営就農

農地や施設機械等を取得して農業経営を開始

法人就業

農業法人などで採用され農業を開始

(公財)やまぐち農林振興公社

TEL:083-924-8900
FAX:083-924-0742
メール:yashuno@y-agreen.or.jp



詳細はこちら

山口県での 就業 の流れ

山口県では「担い手支援日本一」を目指し、相談から体験、研修、就業、定着までの一貫したサポートを関係機関と連携して行っています。

新規就業をサポートします！

詳しくは、
各相談窓口へ
お問い合わせ
ください！